

すべては、子どもたちの未来のために



6月10日、栗東芸術文化会館さきらで、「明るい滋賀県政をつくる会」のスタート集会が行われ、県内各地から大勢の参加で盛り上がりしました。応援に駆けつけた元日本弁護士連合会会長の宇都宮健児さんから、「福井地裁の大飯原発再稼働差し止め判決の意義は大きい。国民の原発反対の世論は判決をあと押しした。生活保護の引き下げなど、国民のいのちを守れない政治が続いている。国民世論で反撃しよう」などと語られました。立候補予定の坪田いくおさんが、「原発は絶対にアカン。子どもたちへ安全なこの土地を残すのは大人の責任。よい知事を選んで、県政を変えよう」と、熱く力強く訴えました。

国民不在の大暴走にストップかける選挙に。

7月13日投票 滋賀県知事選挙

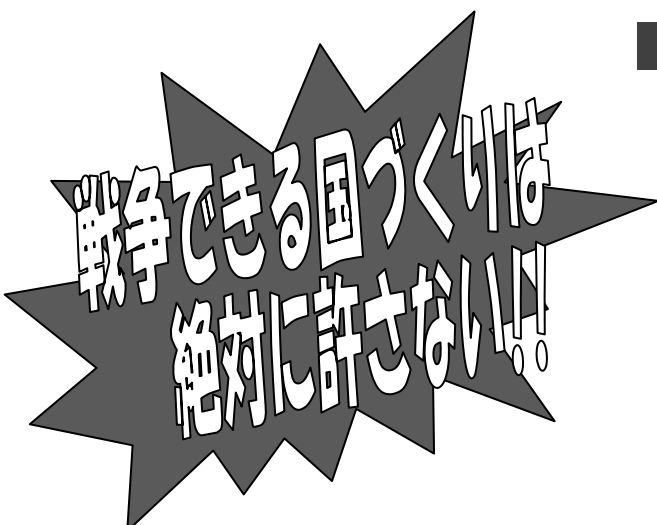
集団的自衛権、20日閣議決定ねらう

▽自民、公明両党は10日、憲法解釈変更の最大の焦点となる集団的自衛権の問題について本格協議を開始しました。座長の高村正彦自民党副総裁は国会中の20日に閣議決定を行うことを目指し、13日の与党協議で文案を示すよう政府に要求しました。安倍政権は残り2週間足らずの間に、「閣議決定」という独裁的手法で、憲法9条を根本から破壊しようとしています。事態は緊迫。歴史的暴挙を許さない国民世論の結集が急がれます。

▽「想定される状況に限る」「地域を限定する」と言いますが、戦闘地域か

▽。安倍晋三首相は「再び戦争する国にならない」と言いますが、「戦闘地域」で自衛隊が他国軍隊を支援すれば、相手から攻撃を受け、結果として「海外で武力行使」をすることになります。安倍首相の主張とは正反対に、日本が「海外で戦争する国」になることは明白です。日本が再び「戦争する国になる」というような重要なことを、時々の政権の解釈だけで決めてしまうことなど、絶対に許してはなりません。

▽あの戦争の尊い命の犠牲の上に、二度と戦争はしないと誓ってつくられた憲法9条。世界に誇れる宝です。9条のおかげでこれまで日本は人を殺し殺される戦争をしませんでした。解釈改憲を許さず、日本を海外で戦争できる国の策動を、国民の声で必ずやめさせましょう。



守山市議会 6月定例会開会

守山市議会の一般質問は、18日・19日に行われます。日本共産党の二人の議員の質問テーマは右の通り。傍聴にお越しください。

- 小牧一美議員 6番目 18日(水)午後
- ・子ども子育て新制度と学童保育について
 - ・健診受診向上対策と子どもの生活習慣病予防について
 - ・職員の超過勤務について
 - ・小学校の教育環境の整備充実について

- 松葉栄太郎議員 8番目 18日(水)午後
- ・原発問題 (大飯原発再稼働差し止め判決) に対する市長見解を問う
 - ・医療介護総合推進法案について
 - ・緊急通報システムの充実を
 - ・大庄屋諏訪家屋敷の活用について

日本共産党
守山民報

守山市議会議員
小牧一美
TEL・FAX 582-3785
<http://komaki.jcp-web.net/>

守山市議会議員
松葉栄太郎
TEL 584-3077
FAX 584-3466

日本共産党守山市委員会発行 667号 2014.6.11 TEL 583-8552 FAX 583-1098

毎週木曜日 午後5:45～6:45 守山駅で街頭宣伝しています。